

# 日本福祉教育・ボランティア学習学会 学会ニュース

Japan Academic Association of Socio-education and Service Learning

No.68

2019年2月28日  
発行

発行人：原田正樹 編集委員：佐藤 陽 秋貞由美子 熊谷紀良  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番27号 ロリ工市ヶ谷3階  
TEL.03-5227-7101 FAX.03-5227-7102 Eメール jimukyoku@jaass.jp

## 「第24回あいち・なごや大会」を開催して

大会事務局長 **野川すみれ**（名古屋市社会福祉協議会）



2018年11月24日・25日に、「共生文化創造への途—福祉教育・ボランティア学習の新たな展開を探る—」をテーマとした第24回あいち・なごや大会を愛知で開催させていただき、関係者含めて延べ1,161名の参加を得て無事終了することができました。あらためてご登壇いただいた皆様、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。今回、多くの皆様にメッセージを届けることができたことは、大きな成果のひとつになったのではないかと感じます。

2009年の15回大会のテーマ「共生文化創造への途」を継承しながら県内を中心に進めてきた、「福祉教育のつどい」の集大成として、福祉教育・ボランティア学習の新たな展開を探るべく企画してまいりました。

大会一日目は、講演・対談・シンポジウムを通して、改めて「共に生きる」という価値を問い、そのことの難しさと可能性、福祉教育・ボランティア学習の意義について議論しました。この企画は県内へのオープン企画として、県内からも492人の参加を得て、ホールがほぼ満席となりました。

大会二日目には、9分科会とポスター発表あわせて42本の自由研究報告があり、実行委員も11本の報告に挑戦させてもらいました。その後、7つの課題別分科会に分かれ、研究協議を深めました。あいち・なごや企画の課題別では、多文化共生や教育福祉など愛知の特性をふまえたテーマにも取り組みました。

あいち・なごやとして実行委員会を立ち上げたのは二回目となりますが、いずれも大会開催のためだけの組織としてではなく、福祉教育・ボランティア学習の実践研究を深め、その中心メンバーの組織化を図ることも並行して進めてきました。大会成功の三要素を、①内容②段取り③参加者数とし、45名の実行委員のそれぞれの当事者性や得意分野を發揮しながら、少人数ではなし得ない運営ができたのではないかと実感しております。

大会の企画や運営を通して、改めて過去の大会運営を引き受けられた実行委員会のご努力やご配慮に気づくことができます。また自らの知識や経験、ネットワークも広がりました。至らない点多々あったと思いますが、このような機会をいただけたことに実行委員一同、感謝いたします。ありがとうございました。